

# 校長室からこんにちは!

No. 2

4月29日

発行者 中田 禎二

## No. 1 の学校

4月8日、私は1学期の始業式で意欲溢れる子どもの視線を感じながら「カタールNo.1の学校を目指そう」と話しました。

そのためのキーワードは、カタールに暮らす様々な国の‘子どもたちが行きたい学校’、‘親が行かせたい学校’です。そんな学校にするために、今年度も中期経営計画に基づいて着実な歩みをしながら、カタールで一番楽しくて夢溢れる学校に向かっていきたいと思えます。

そこで、そのための新たな取組みの一端を紹介します。

①英語学習…英会話では、1・2年生で1組、3・4年生で1組、5・6年生と中学部で1組、合計3組を作り、さらに、それぞれの組を習熟度別に2グループに分け、二人の教諭が担当します。一人がコミュニケーションスキルの向上のための指導（アドバンスクラス）を、一人が日本語を交えながら基礎的基本的内容の指導（ベーシッククラス）を担当します。

②放課後活動…これまでの放課後活動の成果を踏まえ、「ドーハタイム」と名称変更し、和太鼓にソーラン、ゲームや基本的な運動を行います。また、特別活動・総合的な学習・行事の事前事後指導・学力補充の時間に充てます。

③イマージョン授業…現地採用講師による特定教科のオール英語の授業を次年度以降の目標にした取組みを始めます。講師の指導言語は英語とし、今年度は図工科の一部を派遣教員とのチームティーチングで行う計画です。

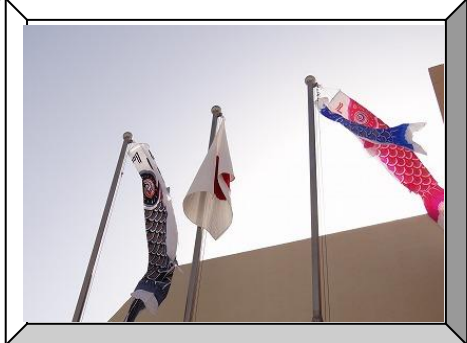
④自学の力の育成…複式授業の特性を取り入れ、全学年で自学の力を培っていきます。それが自ら課題を見つけて、生き生きと学びながら豊かな人生を送る生涯学習力の基礎となります。

海外日本人学校の特色は、当たり前ですが、祖国日本の学習指導要領の徹底です。これなくして国際理解はないと思えます。

日本人の皆さんの思いに支えられているドーハ日本人学校、日本カタール国交樹立40周年の区切りが終わり、新たな関係構築に入った今年度、カタールの良さをたくさん発見していきながら、祖国に負けない義務教育を行ってまいります。

どうかみなさん、学校へおいでください。

## 校長写真館



メインポールの日ノ丸の両サイドから中東の空を泳ぐ真鯉・緋鯉と子どもの鯉。その姿にドーハっ子たちの健やかな成長を祈らずにはおれません。

## ちょっとお耳を…

新学期にあたり観葉植物を教室やホール入り口に揃えた。

緑に触れる機会が少ないから自ずと緑に目が向く。

緑だけではない、全ての自然の在りようは意識せずとも人の心に影響する。

だから、自然は生きる上での先生になる。

カタールの街を見ていると厳しい自然環境をしっかりと受け止めながら、自然を取り込もうとする工夫を感じる。街全体が大きなオアシスのように…。